

press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

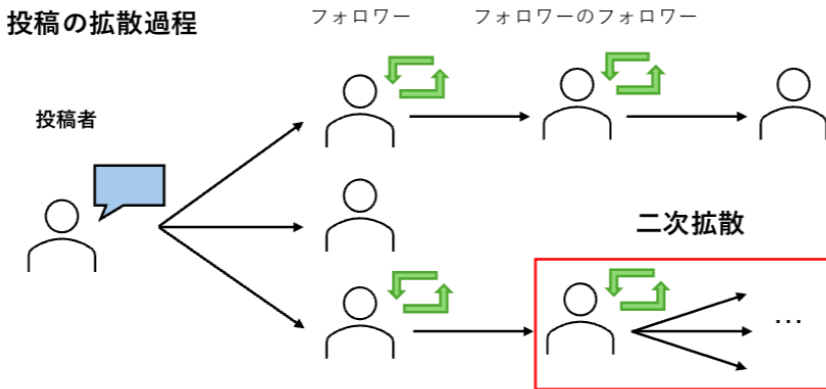
〈報道関係のみなさま〉

計算社会科学学会大会で本社員の論文が大会優秀賞を受賞

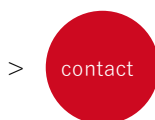
SNS 上の「名声バイアス」を検証

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長 角田 克)メディア研究開発センター員の新妻巧朗が主著の論文(以下「本論文」)が、第 4 回計算社会科学学会大会(以下「CSSJ2025」)にて大会優秀賞を受賞しました。CSSJ2025 は 2025 年 2 月 16 日から 18 日まで筑波大学東京キャンパスにて開催され、現地で新妻が発表しました。

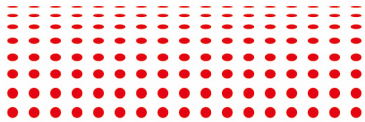
本論文は、弊社アドバイザーの北陸先端科学技術大学院大学・中分遥准教授、筑波大学・吉田光男准教授との研究成果をまとめたもので、投稿した情報が拡散されやすいユーザーを、ソーシャルネットワークサービス(SNS)上で影響力の強い「インフルエンサー」と定義した上で、インフルエンサーが他者の情報を共有(いわゆる「リポスト」や「シェア」)した場合の拡散のされ方について検証しました。本論文では X における情報のやり取りを多角的に分析し、インフルエンサーが共有する情報は、他者の情報であっても、インフルエンサーではないユーザーが共有する場合と比べて拡散されやすいことを示しました。情報の送り手がインフルエンサーである場合に、それを拡散する動機が高まる「名声バイアス」の影響を明らかにし、フェイクニュースなどの伝播過程の理解に新たな視座を提供する研究です。



本論文の概念図。赤枠がインフルエンサーか否かで、「二次拡散」のされ方の違いに着目した



〈お問い合わせ〉
朝日新聞社 CTO 室
メディア研究開発センター
E-mail mrad-contact@asahi.com



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

朝日新聞社は最新テクノロジー、特に AI 分野での研究を推進し、社内外の AI の利活用や DX に貢献していきます。

■論文について

新妻巧朗, 吉田光男, 田森秀明, 中分遥. インフルエンサーのリポストと情報拡散: オンラインコミュニティにおける威信バイアスの検証. 第 4 回計算社会科学大会(CSSJ2025), February 2025.

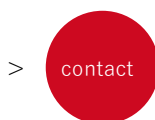
■メディア研究開発センターについて

2021 年 4 月に発足しました。人工知能を始めとする先端メディア技術と、新聞社ならではの豊富なテキストや写真、音声などの資源を活用し、社内外の問題解決を目指すとともに、自然言語処理や画像処理をはじめとした先端技術の研究・開発を進めています。

<本リリースについての問い合わせ>

朝日新聞社 CTO 室 メディア研究開発センター

E-mail: mrاد-contact@asahi.com をお願いします。



<お問い合わせ>
朝日新聞社 CTO 室
メディア研究開発センター
E-mail mrاد-contact@asahi.com